



共同作業所全国連絡会第15回全国集会・「東京

共作連15周年 国連障害者の10年最終年記念

去る一一月五・六日(土・日)共作連第一五回全国集会が東京で行われました。

今回は、「国連障害者の一〇年」最終年、共同作業所全国連絡会結成一五周年記念と体會は会場もティーズニーランド近くの東京ベイINNホールで約五千名が集まりました。いともあり、一四日の全こぶしからはマイクロバスで仲間、保護者、職員合計一七名が第一日目の全体会に参加しました。全体会は、セレモニー、うたごえ、スペシャルトーク、感動ライブが企画されました。全体会が元気に、そして自分たちのいろいろな思いを語りました。とてもノリのいい仲間がたくさんいました。

スペシャルトークではビルのCMでおなじみの作家椎名誠氏、中国で登山中遭難し凍傷により両手指、膝下一五センチより両足を切断、その後リハビリによりふたたび登山やスキーを楽しむ登山家の松田泰也氏、脳性マヒながら

1992年12月25日
一発行 - オ152号
こぶし作業所
宇都宮市柳田町1401
0286(62)1911

発表していたと思います。一九名のうち三名が最優秀賞に六名が優秀賞に輝き、東北

北関東ブロック代表になつた矢板市のすずらん作業所の大貫ふさ子さんも優秀賞に輝きました。選考は「『その人に

朝の連続テレビ小説でおなじみの人気タレント、石田ひかりさん』の写っているチラシ

一公演、ミュージカル「エル・リックコスマスの二三九時間」(劇団四季)を観劇してきました。これは、日産労連(

全日本・一般業種労働組合連合会一二三万人)の組合員一人一人が毎月百円ずつ出し

感動ライブでは、共作連のテーマソング「とびらのむこうに」を歌っているダ・カーポが息の合った優しいハーモニカを聞かせてくれました。

二日からは、仲間代表の直井君と職員の金田さんの二

人が引き続き参加、場所も東京都内へと移りました。各セッションごとに会場もかわり、直井君等はセッション1、小林君も予選に参加した「障害を持つ我らが主張」コンクールの本選会を聞いてきました。一日がかりの選考会なので途中で飽きたかなと思いつたが、それはそれはさすがに全国アプロックの激戦を勝ち抜いてきた一九名だけあってその内容としゃべりにはびっくり、飽かるだらうなんて思っていた自分たちが恥ずかしくなりました。一人一人そ

つて「日産労連福祉基金」を創設し、この基金による活動

の一つとして昭和五一年から毎年全国各地で開催されています。選考は、夢や希望、命さが伝わりとても良い経験ができたと感じました。今日はコンクールに挑戦しなかつた直井君、「次回は必ず・・・」との誓いを胸に帰りました。(次回はいつになるかわかりませんが・・・)

来年の全国集会は五月に福岡で開催されます。職員は全員が視察してきた分場見学のレポートを一冊にまとめ、それをひっさげて参加の予定です。

今年度の衛生部は部長の酒巻さんを筆頭に、小林君、鎌田君、飯野君、関本さんの五名で構成されています。活動内容は例年通り、食堂のテープルふき、タオルたたみ等々活動そのものが仲間たちが直接目にしにくい、地味な活動ですが、みんなが気持ちよく過ごせるようにと、力を合わせがんばっていたようです。

二〇日には雨の中、金貢で矢板支店まで納品に行き、山の工賃の二万円は千ぴょう班んだが「ヤッター!」と、思わず叫びたくなってしましました。発注してくれたのは労働金庫、以前共作連ふきんを粗品として大量に取り扱っていただいたこの工賃として入金されることがわざいました。内容は、

「あらがいが」をしました!

高橋智子さんのお父さんの職場の備品入れ替えにより、スチール書棚、ロッカー、會議テーブル等を頂きました。

「こぶし」と「けやき」で大切に使わせていただきます。

一がつめの 宿泊訓練(審議) 三〇(土) 職員会議

- 四(日) 仕事始め(審議)
- 九(土) 職員会議
- 一六(土) 職員会議
- 二三(土) 二四日の代休
- 二四(日) 買物訓練
- 二七(水) 二八(木) 宿泊訓練(審議)

がんばりました! 卫生部の巻

えいせいぶの部長さんがいなか間、ぼくはせきもとさんと、いいのくんと、かまたくさんがラーメンやに行かないときは、三人でタオル、ぞうきんなどやりました。ぼくはいつもになつたら部長さんはくる



